

工事事務(速報)の情報提供について

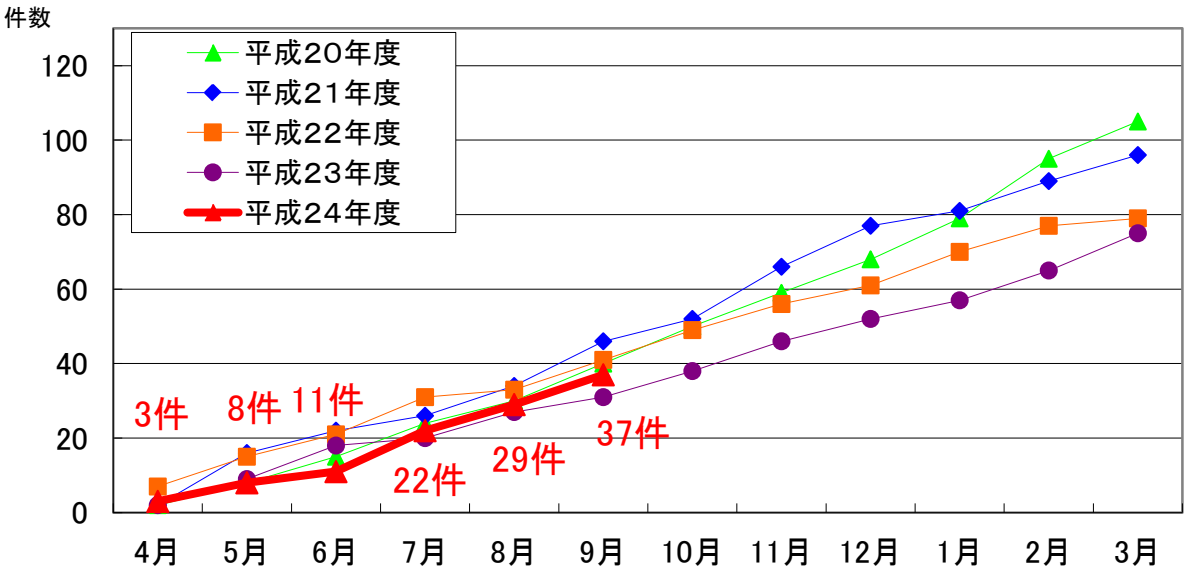
工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。
各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせいたします。
本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事務(速報)発生状況】 (H24.9.30現在)

	9月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成24年度(今年度)	8件	37件	1人	10人
平成23年度(昨年度)	4件	74件	1人	19人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。
注2) 「9月発生件数」は、9/1～9/31の間に起きた件数。(月毎分)
注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)
注4) 「死亡者数」「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。
注5) 平成24年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

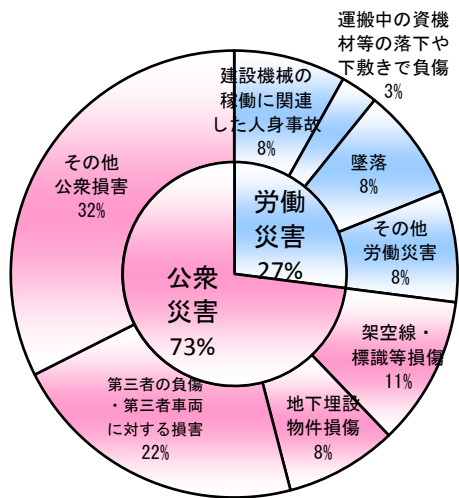
●工事事務件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成20年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	8件 (6件)	15件 (7件)	24件 (9件)	30件 (6件)	40件 (10件)	50件 (10件)	59件 (9件)	68件 (9件)	79件 (11件)	95件 (16件)	105件 (10件)
平成21年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	16件 (14件)	22件 (6件)	26件 (4件)	34件 (8件)	46件 (12件)	52件 (6件)	66件 (14件)	77件 (11件)	81件 (4件)	89件 (8件)	96件 (7件)
平成22年度 累計 (月毎)	7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	65件 (8件)	74件 (9件)
平成24年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	11件 (3件)	22件 (11件)	29件 (7件)	37件 (8件)						

※なお、平成21年度工事事務より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

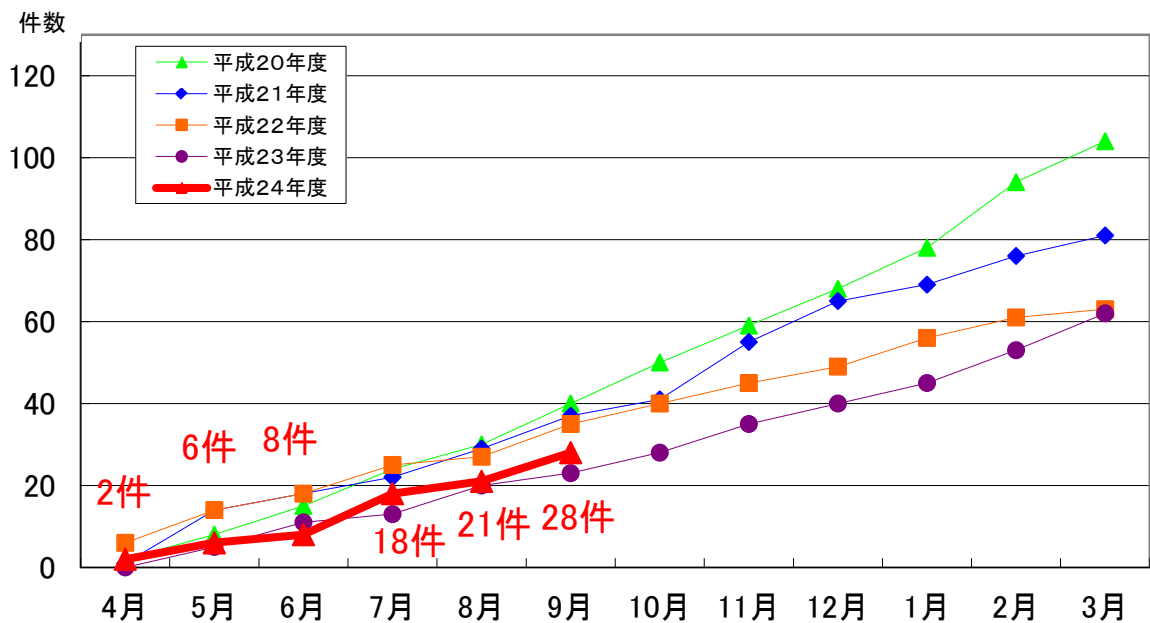
●平成24年度 工事事故発生状況(発生形態別)



	発生形態	H22	H23	H24	過去3年間計
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	6	4	3	13
	部材の加工作業等により自らを負傷	4	1	0	5
	運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷	2	5	1	8
	墜落	8	3	3	14
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	0	0	0	0
	その他労働災害	5	1	3	9
	小計	25	14	10	49
公衆損害	架空線・標識等損傷	14	9	4	27
	地下埋設物件損傷	6	8	3	17
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	13	22	8	43
	その他公衆損害	19	18	12	49
	小計	52	57	27	136
	その他事故	2	3	0	5
	計	79	74	37	190

●H24年度重点的安全対策項目

●「その他公衆損害」事故のうち、車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数

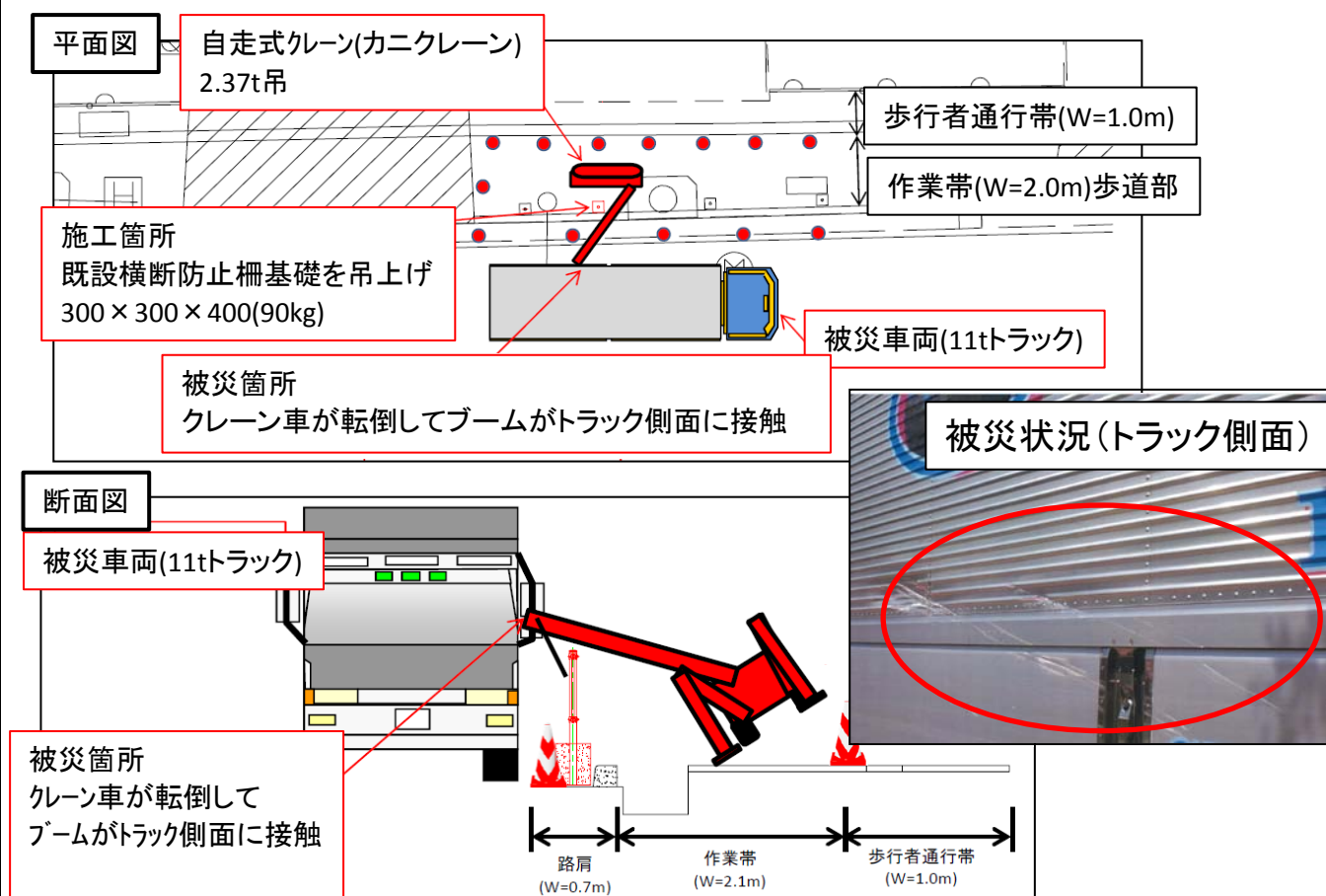


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成20年度	累計 (月毎)	2件 (2件)	8件 (6件)	15件 (7件)	24件 (9件)	30件 (6件)	40件 (10件)	50件 (10件)	59件 (9件)	68件 (9件)	78件 (10件)	104件 (10件)
平成21年度	累計 (月毎)	1件 (1件)	14件 (13件)	18件 (4件)	22件 (4件)	29件 (7件)	37件 (8件)	41件 (4件)	55件 (14件)	65件 (10件)	69件 (4件)	81件 (5件)
平成22年度	累計 (月毎)	6件 (6件)	14件 (8件)	18件 (4件)	25件 (7件)	27件 (2件)	35件 (8件)	40件 (5件)	45件 (5件)	49件 (4件)	56件 (7件)	63件 (5件)
平成23年度	累計 (月毎)	0件 (0件)	5件 (5件)	11件 (6件)	13件 (2件)	20件 (7件)	23件 (3件)	28件 (5件)	35件 (7件)	40件 (5件)	45件 (5件)	62件 (9件)
平成24年度	累計 (月毎)	2件 (2件)	6件 (4件)	8件 (2件)	18件 (10件)	21件 (3件)	28件 (7件)					

■問合せ先:企画部 技術調査課 田島・越智 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 24 年 9 月 3 日 (月)				10 時 50 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	通行車両損傷(大型トラック側面)			
事故概要	横断補防止柵の撤去作業中に、ミニクローラークレーンが車道側に転倒し、走行していた大型トラックに接触して車両を損傷させてしまったもの。						
	公衆損害事故－第三者車両に対する損害						

事故発生状況



- ・歩道を規制して、横断補防止柵の撤去作業を自走式クレーンで実施。
- ・既設横断防止柵基礎を吊上げて旋回する際、クレーン車がバランスを崩して転倒。
- ・ブームが、走行していた大型トラック側面に接触し、車両を損傷させたもの。
- ・当初は人力作業を計画していたが、クレーン作業に変更。変更後の作業手順書が作成されておらず、また、変更施工計画書も未提出であった。
- ・作業帯が狭かったため、アウトリガを規定どおり張り出していなかった。

【事故発生原因】

- ・作業手順書が作成されておらず、作業方法が作業員に周知・徹底されていなかったため。
- ・機械性能の確認を行わなかったため。

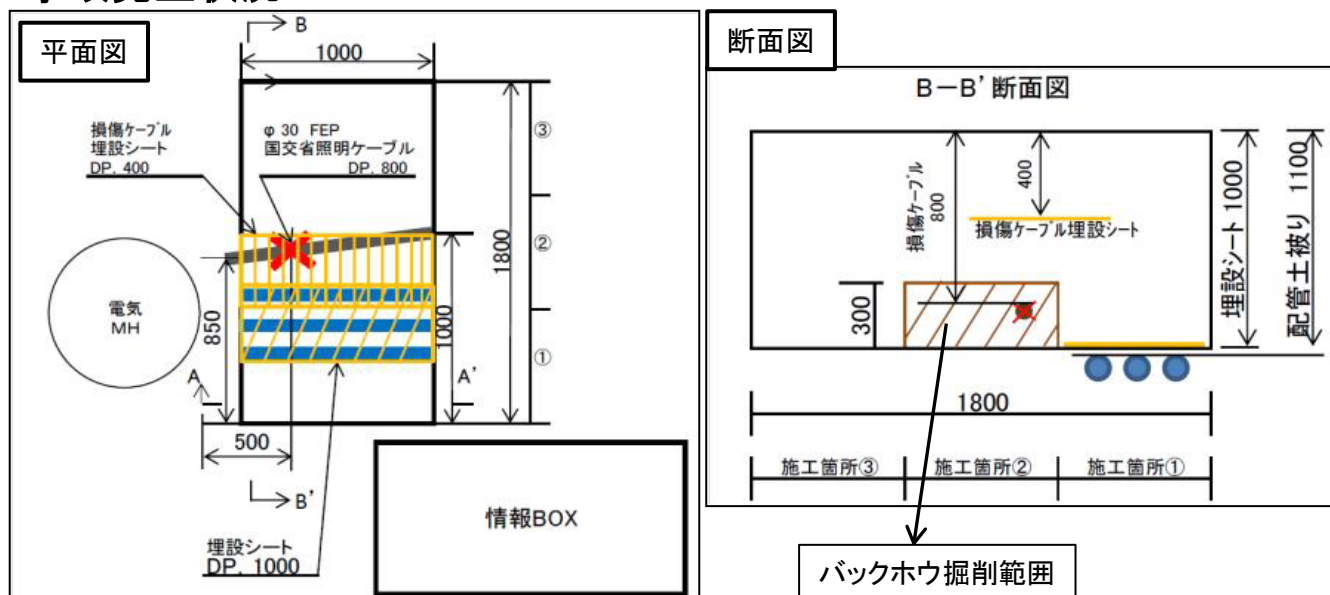
【事故防止のポイント】

- ・現場条件や転倒防止を考慮した具体的な作業手順書を作成し、作業員に周知徹底を行う。
- ・現場条件にあった機械の選定及び施工方法を検討する。 など

別紙

発生日時	平成 24 年 9 月 10 日 (木) 11 時 10 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 通信設備工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	道路照明灯電源ケーブル損傷		
事故概要	CCTVカメラ設置に伴い、歩道部の既設地下管路位置確認の為に手堀とバックホウで試掘中、埋設してあった道路照明灯電源ケーブルを損傷させたもの。					
	公衆損害事故ー地下埋設物件損傷					

事故発生状況



道路照明灯電源ケーブル損傷状況

- (1) MHで配管の取り付け位置(深さ、方向)を確認し事前マーキングを実施。
- (2) 断面図①②③の範囲を手堀り掘削し、GL-400の位置に埋設シートを確認。
- (3) ①③の範囲を手堀でGL-1000まで掘削して埋設シート確認。
- (4) ②の範囲はGL-700まで手堀り掘削。
- (5) ②のH=300の箇所には配管が無いと思い込みバックホウで掘削を行い管路を損傷させた。

・計画書で管の近接箇所では人力にて掘削となっていたが行われていなかった。

【事故発生原因】

- ・埋設物近接箇所での掘削に対する安全対策不足によるもの。
- など

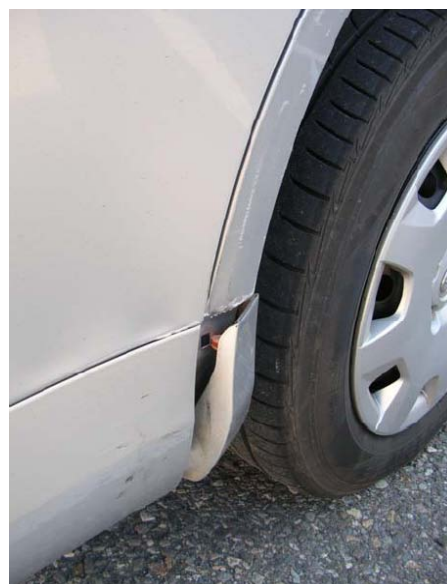
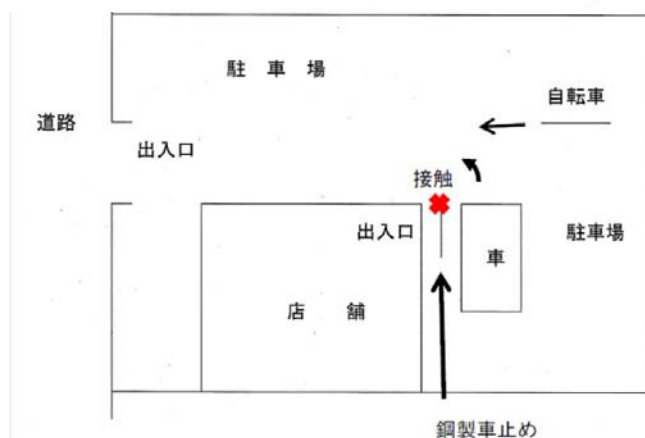
【事故防止のポイント】

- ・埋設物付近での作業については埋設物の状況を十分に把握した上で施工を行う。
- ・埋設物近接箇所では、不用意に重機を用いて作業をしない。 など

発生日時	平成 24 年 9 月 11 日 (火) 14 時 0 分				天候	晴
工事情報	河川系事務所 役務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	官用車損傷		
事故概要	駐車場内において、鋼製車止めに官用車の左側後輪フェンダーをこすり、損傷させたもの。					
	公衆損害事故－その他 公衆損害事故					

事故発生状況

平面図



車両損傷状況



事故発生現場状況(鋼製車止め)

- ・店舗駐車場から、道路に出ようとしたところ、車両前方に自転車が接近し、自転車に気を取られ、左側の確認を怠ったため、駐車場内の鋼製車止めに官用車の左側後輪フェンダーをこすり、損傷させたもの。
- ・車止めの修理は、相手方に確認した結果、不要とのこと。

【事故発生原因】

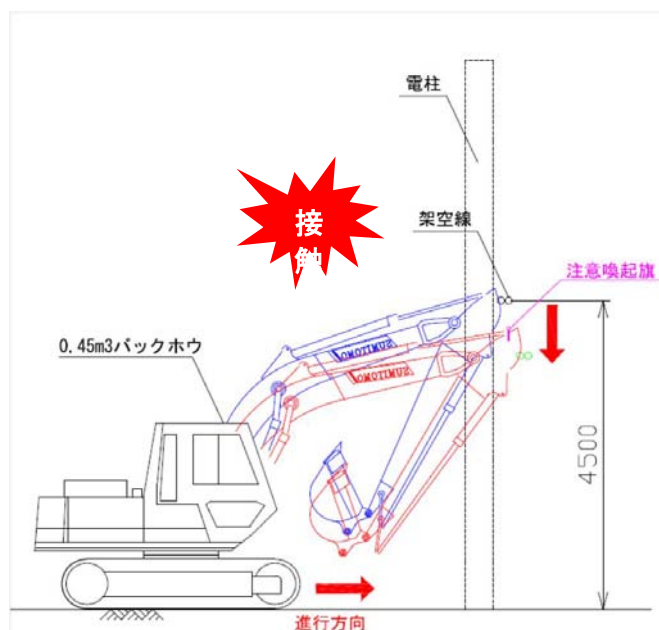
- ・運転手の左後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。
- ・周辺構造物等への注意、確認を行う。
など

発生日時	平成 24 年 9 月 12 日 (水) 16 時 0 分					天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	NTTケーブル、ケーブルテレビケーブル損傷			
事故概要	土砂の採取後、バックホウを移動中、アームが架空線に触れたため、アームをさらにさげたところ、架空線がアームに引っ張られ、損傷させたもの。						
	公衆損害事故－架空線・標識等損傷						

事故発生状況



- ・移動の際、バックホウのアームはたたんでいたが、アームが下げきれていなかった。
- ・架空線への対策として、防護管、高さ明示の三角旗、注意喚起看板を設置。新規入場者教育時、KYなどで架空線に関する安全教育を実施していた。
- ・誘導員は配置されていたが、事故発生時は誘導員の誘導無しで移動したもの。
- ・NTT: 2本断線、2世帯で断線を確認
ケーブルテレビ: 損傷無し

【事故発生原因】

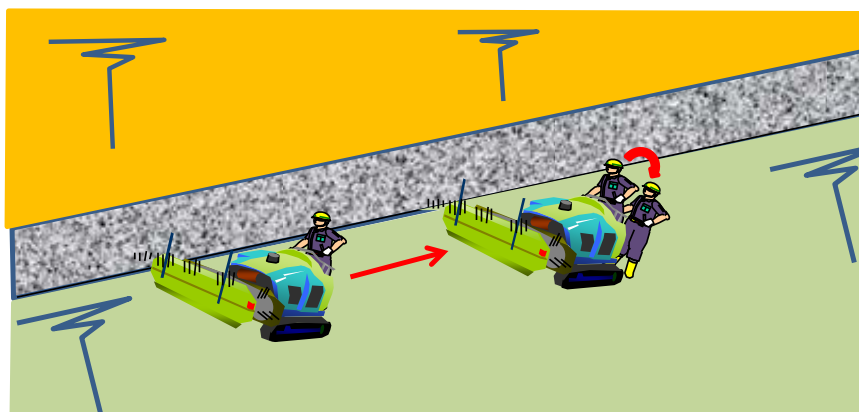
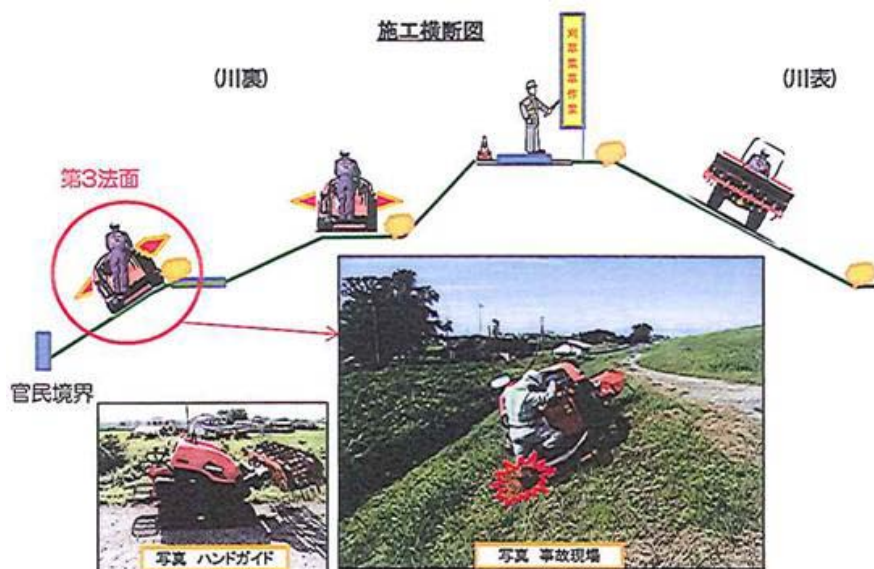
- ・誘導員が配置されていなかったため。
- ・架空線に対する注意喚起が不十分だったため。 など

【事故防止のポイント】

- ・架空線に対する注意喚起を徹底する。
- ・架空線の付近で作業を行う際は誘導員を配置する。 など

発生日時	平成 24 年 9 月 15 日 (土)				9 時 33 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	60	作業員	左足膝下切断			
事故概要	ハンドガイドを後退させ向きを変えた直後、ステップから左足を踏み外してしまい、キャタピラと地面に左足を膝下まで挟まれ、負傷したもの。						
	工事関係者事故－建設機械の稼働に関連した人身事故						

事故発生状況



作業員の胴体がステップに残っていたため、被災時に安全装置が機能しなかった。

安全装置

・ハンドガイドによる刈草集草作業中、進行方向の法面が急勾配になったことから、操縦していた作業員がハンドガイドを後退させ向きを変えようとした。

・直後に、ステップから左足を踏み外してしまい、ハンドガイドのキャタピラと地面に左足が挟まれたもの。

・挟まれた後、被災者自ら操作レバーを操作し、前進ギアを入れ、安全装置が作動し、停止した。

・作業手順書において肩掛式と機械式(ハンドガイド)の施工範囲の区別をすることとなっていたが、周知徹底されておらず、現地にも目印等が設置されていなかった。

【事故発生原因】

・ハンドガイドの施工範囲が明確にされておらず、作業方法が作業員に周知・徹底されていたなかったため。 など

【事故防止のポイント】

・現場条件を考慮した具体的な作業手順書を作成し、作業員に周知徹底を行う。 など

発生日時	平成 24 年 9 月 18 日 (火) 11 時 0 分				天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	マンションフェンス損傷		
事故概要	堤防をハンドガイド式除草機で除草中、ハンドガイドの方向転換時に沿道マンションのフェンスにぶつかり、損傷させたもの。					
	公衆損害事故－その他公衆損害事故					

事故発生状況



フェンス損傷状況

- ・堤防をハンドガイド式除草機で除草中、ハンドガイドの方向転換時に沿道マンションのフェンスにぶつかり、損傷させたもの。
- ・障害物周りはあらかじめ肩掛けにて除草しておくこととなっていたが、フェンスが見えることから不要と判断し、ハンドガイドで除草後、肩掛けにて除草を実施。
- ・沿道マンションからの連絡で発覚したもの。

【事故発生原因】

- ・支障物損傷防止のための作業方法や安全管理の周知不足によるもの。

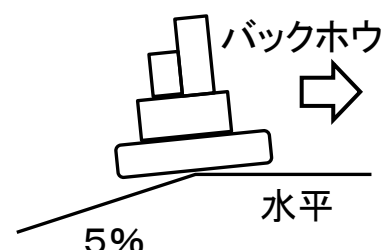
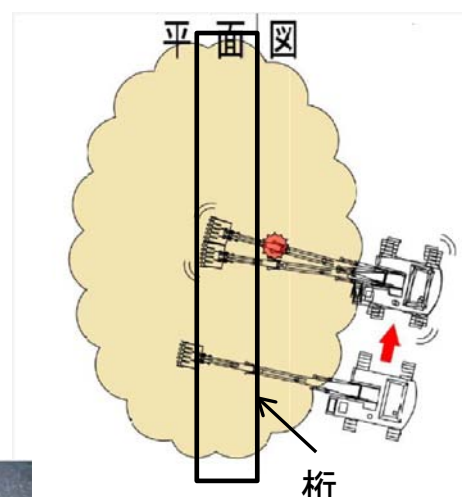
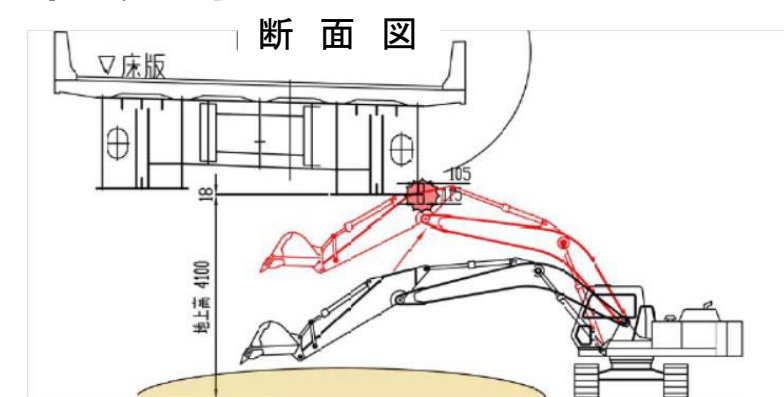
【事故防止のポイント】

- ・支障物付近での作業方法について作業員に周知・徹底を行う。
- ・支障物に対する安全教育の徹底。
など

別紙 7

発生日時	平成 24 年 9 月 18 日 (火)				9 時 58 分	天候	曇
工事情報	道路系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	橋桁損傷			
事故概要	バックホウ(0.8m3)により、桁下に置いてあった土の片づけ作業中、アームが桁に接触し損傷させたもの。						
	公衆損害事故－架空線・標識等損傷						

事故発生状況



桁損傷状況

- ・ 桁下に置いてあった残土をバックホウ(0.8m³)により、片づけ作業を行っていた。残土は、工事用車両が通過する桁下高を確保するため桁下の表土をはぎ取った際に発生したもの。
- ・ 桁下にアームを伸ばしながら地盤勾配約5%の箇所において、重機を3m横移動したところ、地盤勾配約5%の箇所から、水平となったところで、バックホウがシーソーの状態になったため、オペレーターが焦りアームを引きあげたところ、桁に接触したもの。
- ・ 作業手順書においては、桁下での作業は、バックホウ(0.2m³)で集積し、桁の外に集積し改めてダンプトラックに積込(バックホウ(0.8m³)) こととなっていたが、直接バックホウ(0.8m³)で作業が行われており、作業手順書が遵守されていなかった。

【事故発生原因】

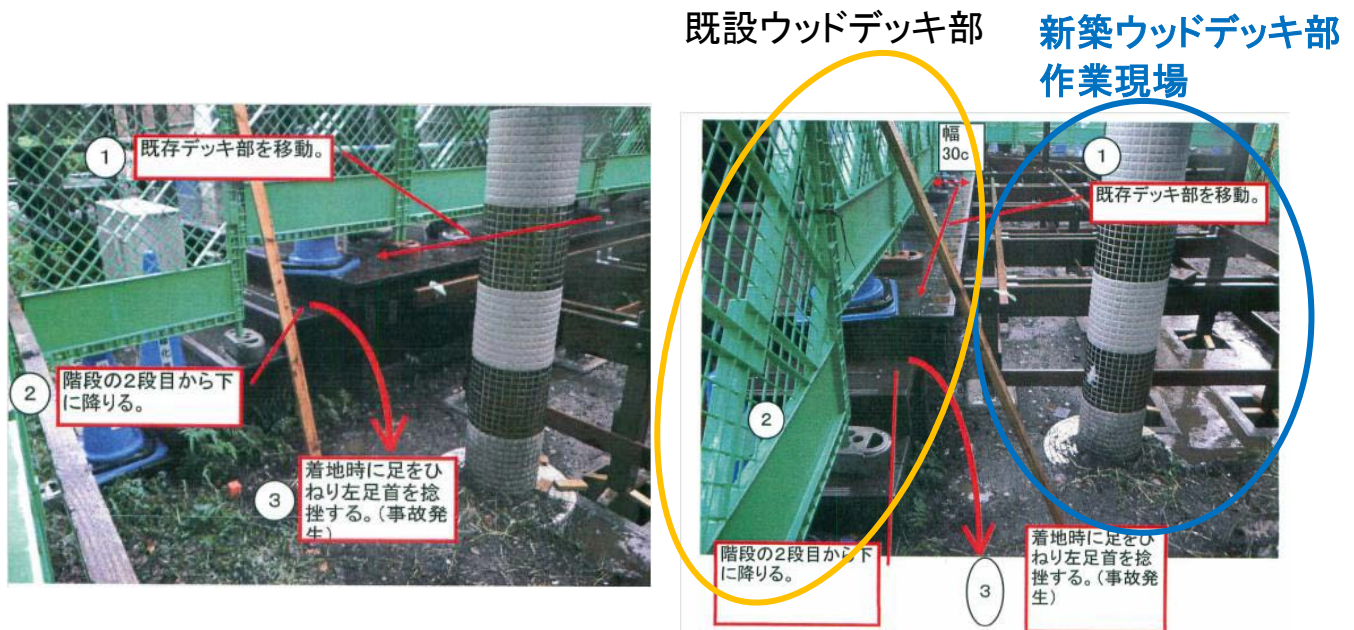
- ・ 作業手順書が守られていなかったため。 など

【事故防止のポイント】

- ・ 施工計画書、作業手順書を遵守するよう作業員に周知徹底を行う。 など

発生日時	平成 24 年 9 月 23 日 (日) 11 時 30 分				天候	雨
工事情報	公園系事務所 造園工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	44	巡視員	かすり傷		
事故概要	作業現場にて、作業員が、既設階段から下りる際、着地点でぬかるみに足をとられ、左足首を痛め、負傷したもの。					
	工事関係者事故－その他 工事関係者事故					

事故発生状況



- ・新築ウッドデッキ作業現場にて、作業員が、既設ウッドデッキ階段から下りる際、着地点でぬかるみに足をとられ、左足首を痛め、負傷したもの。
- ・作業現場に移動スペースが確保されていなかった。デッキ上から降りられる箇所が、今回事故を起こした箇所しかなかったため、既設デッキの幅30cmのスペースを移動スペースとしていた。

【事故発生原因】

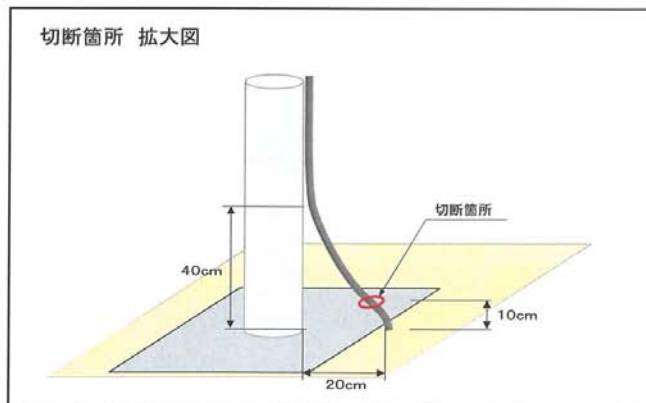
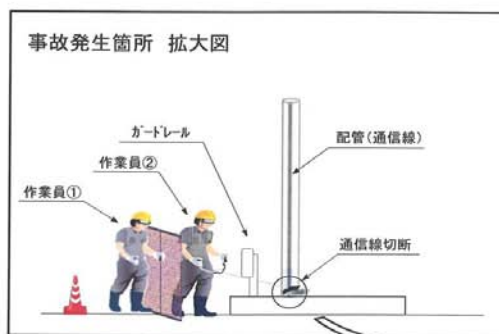
- ・作業現場に安全な通路が設けられていなかったため。 など

【事故防止のポイント】

- ・作業現場の安全通路を保持する。 など

発生日時	平成 24 年 8 月 31 日 (金)			11 時 45 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	警察Nシステム切断		
事故概要	肩掛け式除草機にて中央分離帯の除草作業中、地中からつながった警察電光掲示板のケーブルを切断したもの。					
	公衆損害事故－その他公衆損害事故					

事故発生状況



損傷箇所

- ・肩掛け式除草機にて中央分離帯の除草作業中、地中からつながった警察電光掲示板のケーブルを切断したもの。
- ・作業手順書で、ガードレール、標識などの付属物がある場合は手刈り先行をすることとなっていたが行われていなかった。
- ・草で覆われていた地表面付近を確認しておらず、ケーブルが真っ直ぐ下に伸びているだろうと思い込み作業を行ったもの。

【事故発生原因】

- ・作業手順書が守られていなかったため。
- など

【事故防止のポイント】

- ・施工計画書、作業手順書を遵守するよう作業員に周知徹底を行う。
- など